

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	BX247/会計史2 (History of Accounting 2)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	近代会計制度の成立		
担当者名 (Instructor)	岡嶋 慶(OKAJIMA KEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

現代企業会計に至る会計の歴史的発展過程を分析・検討することを通じて、現代の企業会計の本質をより深くより適切に理解し、その将来的道筋を洞察する能力を身につけることができる。

The goals of this lecture are to deeply and properly understand the essence of contemporary business accounting, and to acquire the ability to gain insights on the future path of business accounting, through analysis and consideration of the historical development process of accounting up to contemporary business accounting.

#### 授業の内容(Course Contents)

本講義は、企業活動の計数的表現過程である会計が、その担い手である企業を取り巻く環境に対応しながら発展してきた事実を前提として、その企業を取り巻く社会的、経済的、法的及び人的環境の変化と会計の進化との因果関係を理解することを主眼として進められる。会計史2では、近代会計の生成・発展期として、近代産業社会の成熟に伴う複式簿記確立の実態、そこに確立された「近代会計制度」、近代会計を形成する会計実務と会計理論について、様々な角度から考察する。さらに、現代会計の生成期として、工業化や企業規模の拡大、企業活動の複雑化が会計に及ぼした影響について考察・分析する。

Accounting is the function of numerically expressing business activities, and has developed in response to the environment surrounding businesses, which are the providers of accounting, so this lecture will be conducted focusing on understanding the cause and effect relationship between the evolution of accounting and the changing social, economic, legal, and human environments. In 'History of Accounting 2', the formational and developmental periods of modern accounting will be covered by considering from various angles the establishment of double-entry accounting accompanying the maturation of modern industrial society, the modern accounting system established thereby, and the accounting practices and accounting theory shaping modern accounting. Finally, focussing on the formative period of contemporary accounting, the class will consider and analyze the influential factors which industrialization as well as the increase in business size and complication of business activities have had on business accounting.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 近代会計の成立環境(1): 株式会社の生成と発展
2. 近代会計の成立環境(2): 近代会社法の生成
3. 産業革命と複式簿記の確立
4. 固定資産会計の生成(1): 鉄道会社と複会計システム
5. 固定資産会計の生成(2): 減価償却
6. 近代会計制度の成立環境
7. 会計プロフェッションの登場
8. 会計プロフェッショナルによる監査の成立
9. 証券市場の発達と近代会計制度の展開
10. 近代会計学の成立(1): 資本主理論と企業主体理論
11. 近代会計学の成立(2): 取得原価主義会計
12. 工業化と巨大株式会社会計
13. 企業集団の形成と連結財務諸表
14. 工業化と管理会計

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

会計史の理解には簿記および会計の基本的知識が必須とされるので、毎回受講前に予めその単元で扱われる基礎的な会計知識を確認しておく必要がある。また、授業は、その歴史的背景の考察を踏まえながら、凝縮された内容で展開されていくので、毎回しっかり復習をして次回の授業に備えるようにしなければ、十分な歴史理解には結びつかない。予習・復習についての指示は、原則として、Blackboard を通じて行なう。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%)/リアクションペーパー(20%)/小レポート(20%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 友岡 賛、2018、『会計の歴史[改訂版]』、税務経理協会 (ISBN:4-419-06508-7)  
各回、プリント(授業レジュメ)を Blackboard にて提供する(上記テキストは、購入しなくて構わない)。

#### 参考文献(Readings)

1. 中野常男・清水泰洋(編著)、2019、『近代会計史入門[第2版]』、同文館出版 (ISBN:4-495-20092-3)
2. 千葉準一・中野常男(責任編集)、2012、『会計と会計学の歴史』、中央経済社 (ISBN:4-502-44990-1)
3. 平林喜博(編著)、2005、『近代会計成立史』、同文館出版 (ISBN:4-495-18301-X)
4. リトルトン／片野一郎訳、1978、『会計発達史[増補版]』、同文館出版 (ISBN:4-495-11786-6)
5. 茂木虎雄、1969、『近代会計成立史論』、未来社 (ISBN:4-624-32035-2)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

PowerPoint を使用した講義形式で、現物資料なども適宜活用する。  
また、授業レジュメ・資料の配布、リアクション・ペーパーなどに Blackboard を使用する。

#### 注意事項(Notice)